

(別紙2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年3月2日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3990600037
法人名	医療法人 地塩会
事業所名	グループホーム 新荘の里
所在地	〒785-0022 高知県須崎市下分甲606-3
自己評価作成日	平成21年10月20日
評価結果市町村受理日	平成22年3月16日

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成21年11月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL <http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3990600037&SCD=320>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ホームでは、「和（なごみ）」を理念とし、笑顔と思いやり、誠実をもって利用者の尊厳を守り、その人らしい、くつろぎのある生活が送れるよう、日々のケアに取り組んでいる。また、下肢筋力の低下や転倒を予防するため、平行棒、レッグプレスなどの器機を利用した機能訓練を毎日の生活に取り入れている。また、週一回は理学療法士の指導を受けている。地域との関わりは、近隣の保育園児、小学児童との交流の機会を持っているほか、地域の方に納涼花火の見物に庭を開放したり、地域の清掃活動や津波避難訓練に参加し、行政との協力関係も含め、地域に溶け込むよう努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所の周辺には、保育所や学校、人家やビニールハウスが建ち並ぶ田園地帯にあり、広い敷地正面の低いフェンス以外は植木で囲まれ、平屋造りで開放感がある。各ユニットには中庭があり、利用者も落ち着いて過ごせる環境に恵まれている。利用者は地元の方が少ないが、週に1回は道の駅や量販店でショッピングしたり、近隣の理容店など、新たな生活環境に馴染みながら暮らしている。また、年に1回はふるさと訪問で自宅周辺にドライブしたり、家族の協力を得て、馴染みの美容院へ行ったり、友人、知人の訪問を受けている。地域との関係づくりについては、保育園児や小学生との交流をはじめ、地域住民から野菜の差し入れがあったり、納涼花火大会の日は地域住民に庭を開放したり、地域の清掃活動や避難訓練に参加するなど地域の一員として交流している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員全員で話し合い独自の理念を作成し、利用者の方々が地域の方々とのお触れ合いを大切に穏やかな雰囲気の中で安心して生活が送れるよう取り組んでいる。	事業所独自の理念を毎日朝礼で復唱し共有するとともに、利用者のこれまでの生活歴等を念頭に置き、その思いを尊重してその人らしい生活が送られるよう、個別ケアに努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地区会に入会し、毎月の広報の配布や行事に参加したり、保育園児、小学生との交流を行っている。	地区会に加入し、地域の一斉清掃や防災訓練、会合に参加するとともに、地域住民から野菜の差し入れを受けたり、花火大会の日には庭を地域住民に開放している。また、隣接する保育所、小学校とも交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	花火の日に園庭を開放したり、小学校で行われる地域の運動会等の行事の際は、駐車場を開放している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の懸念事項について職員で話し合い、ホームで出来ることを一つづつ積み重ねていくようにしている。外部評価の結果を運営推進会議に報告しサービスの向上に努めている。	事業所から運営状況や評価結果とその対応などを報告し、委員からも意見等が出され、双方向的な会議となっている。また、事業所の防災訓練に委員が参加するなど、地域とのつながりを深めていく取り組みに活かされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域ケア会議、地域包括支援センター主催の学習会、市町村の研修会の受け入れや講習会に参加、協力するなど、連携を密にしている。	管理者は、介護行政経験を活かして、地域ケア会議の開催や実習研修を受け入れたり、市から防災対策について助言をもらうなど、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員全員が身体拘束について理解し、拘束のない自由でのびのびしたケアが出来ていると思う。	利用者の外出傾向を把握し、個々に見守り支援をしているが、利用者の安全確保や職員体制により、日常的に玄関は施錠していることが多い。また、利用者が他の利用者の居室に入ることがあり、自衛意識のある利用者からの申し出もあり、居室の扉の内側に金具フックをつけて出入りが制限できるようにしている。なお、この取扱いについては、運営推進会議でも協議され、止むを得ない措置としている。	玄関の施錠や居室扉の内側に金具フックをつけていることは、利用者や家族にとって抑圧感があり、身体拘束につながることを理解し、自衛意識のない利用者にはまで止むを得ず使用する場合には内容を明文化し、本人及び家族に説明のうえ同意を得ることが望ましい。また、身体拘束のないケアの在り方について、職員間で話し合いや勉強会を実施し、共通認識を高めるよう、取り組むことが望まれる。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	専門職員を配置し、職員も研修や勉強会に積極的に参加し理解を深めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人内の研修会に参加し、その内容を全体会で職員に報告し、知識の向上、理解に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前に可能であれば、ご本人、ご家族に見学してもらったうえで、疑問点等に応え説明し、理解と納得をいただいている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に家族代表に交代で参加してもらい、意見をもらっている。家族会への参加を機関紙を通じて行い家族同士で意見や苦情を出してもらえよう取り組んでいる。	家族会は運営推進会議の開催日に併せて行っており、家族のみで話し合う場も設けているが、特に、事業所に対する意見、要望等は出されていない。	家族は、身内がお世話になっていることから、意見等を言い出し難いことを理解し、家族の思いを気軽に伝えられる機会等について、さらに検討されることを期待したい。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の全体会や、各棟で随時のミーティングを通じて、職員の意見を聴く機会を設け、必要に応じて話し合い、運営等につなげている。	毎月の職員会や毎日の朝礼の機会に職員から意見を聞き、課題等についてその都度話し合い、運営につなげるなど取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の資格取得に向けた支援を行い、職員が向上心を持って働けるよう年2回職能評価を行っている。また、2年毎に職員旅行や食事会を行いフレッシュできるようにしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々の能力に応じて、研修参加への呼びかけ等行っている。研修に参加した職員には全体会議で発表してもらい、全職員が研修内容を共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>グループホーム協会の会議や研修会で意見交換を行い質の向上に励んでいる。また、3カ月ごとに市内の地域ケア会議（分科会）や随時、地域のグループホームと交流し、意見交換や気分転換を図る機会を持っている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族やケアマネージャーから生活状況を聞き、ご本人の希望や不安を傾聴し、共感、理解できるように心掛けている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族と話し合い、これまでの経過や家族の思い、要望を聞き、信頼関係を築くよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居の相談時、ご本人やご家族の思いや状況を確認し、ケアマネージャーや地域包括支援センターと連絡を取り合いながら必要なサービスに繋げるようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>コミュニケーションを密にし、レクリエーションや回想法を通して関係を築き、本人の家族への思いや不安等、傾聴し、共に支えあう関係づくりに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>利用者の様子や本人の思いを家族に伝え、共に支えていけるよう協力、理解し合い、信頼関係を築いていくよう努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>友人、知人の来訪時は、お茶を囲んでゆっくり話ができるように心掛けている。いつでも誰でも気軽に来訪してもらえる様な雰囲気づくりに努めている。電話や手紙を取りもったり、一人ひとりの生活習慣を大切にしている。</p>	<p>入居時の聞き取りや、入居後も本人や家族から馴染みの関係を聞くなど把握している。自宅が遠い利用者が多く、友人、知人が訪れてくれたり、年に1回はふるさと訪問を行っている。また、馴染みの美容院の利用は家族の協力を得て実施している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>個々の出番を見つけたり、共同で行事や物作り等を行っている。気の合う者同士で過ごせる場面づくりや、毎日のお茶や食事の時間は多くの会話を持つように努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院された方の見舞いや家族から近況を聞いたり、関係を継続している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話や関りの中で、本人の思いを汲み取るよう努力している。困難な方に関しては、本人の立場に立ち、最良の方策を家族や職員で検討している。	入居時に、本人の意向等を聞き取り、入居後も日々の関わりの中で、利用者の希望や思いを汲み取り、家族からの情報も得ながら、その人らしい暮らしを支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族とのコミュニケーションや関係機関等から情報を得て、利用者一人ひとりの生活歴や好みなど、全体の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	体調の変化や心身の状態を観察理解し、変化等の早期発見に努め、対応している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族の意向を基に、日常の介護を通じた職員の気づきや、アセスメントを含め、職員全員でモニタリングやカンファレンスを行い、介護計画の作成、見直しを行っている。	本人、家族の意向も踏まえモニタリングを行い、個別性のある実施可能な計画となっている。介護計画の期間は、年間目標と6カ月毎の見直しを基本としているが、状況の変化等に応じてその都度見直ししている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>連絡帳やケース記録に各職員が目を通し、現状を把握するとともに、毎月の全体会や各棟のミーティングを通じて共有、実践し、プランの見直しにつなげている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人、家族の状況に応じて通院等の支援は柔軟に対応し、個々の満足度を高めるように努力している。家族の方にも可能な限り、協力をいただいている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>自然災害等による避難時の見極めや、地域の消防の協力や民生委員と意見交換する場を設けている。また、地区の催し物へ職員と共に参加したり、地区長の訪問を受けたりしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居申込時に協力医療機関の説明をし、かかりつけ医がある場合は、それに応じた対応をしている。また、月2回の訪問診察も受けられるようにしている。</p>	<p>協力医の訪問診療が月2回あるほか、利用者、家族の希望に沿って、かかりつけ医に受診できるよう支援している。受診結果等は家族から報告を受け、連絡ノートや看護記録に記載し、職員間で共有している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員を配置しており、看護職員と相談、意見交換をしながら、日常状態の変化に注意し健康管理を行っている。また、看護職員がいない時間帯でも24時間連絡がとれる体制にしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	協力医療機関、かかりつけ医との情報交換、相談を行い、退院等その方にとって良い方向になるように支援している。病院の相談員や看護師とサマリーにより情報交換を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取り介護指針を作成し、家族に説明し、理解を得ている。状態の変化により今後の方向性を本人、家族、医師等と相談や連絡を取り方針を共有できている。	契約時に看取りの対応指針について説明し、同意を得ている。これまで対応した事例はないが、重度化した場合や急変時には、医療関係者と連携して、家族、職員が対応を共有していく準備ができていく。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時のマニュアルを作成しており、研修やミーティングで周知徹底をしている。消防署の協力を得て応急手当等を学び対応できるよう取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力得て避難訓練を実施している。地域の防災訓練にも参加しており、避難場所の確保や地域の方々との協力体制も築けている。	事業所独自の防災訓練を消防署の指導や運営推進会議のメンバーが参加して行っているが、地域住民の参加は得られていない。地域合同の津波避難訓練に参加しており、避難場所等について市から助言を得ている。また、非常用の食料等は準備している。	災害時には、地域住民の協力が欠かせないので、運営推進会議メンバーの力添えや地域の津波避難訓練の取り組みを契機として、事業所の防災訓練にも地域住民の参加、協力が得られるよう取り組むことを期待したい。
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ケース記録の背表紙にはイニシャル表示をし、個人の守秘義務を徹底している。朝礼や全体会で常にプライバシーを損ねないよう対応を徹底している。	プライバシーの確保等について全職員で自己点検を行い、マニュアルと併せて周知をしている。また、職員は日々のケアにおける声かけについて注意し合うなど、取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の嗜好品や入浴にはアドバイスをしながら本人の意思を尊重するようにしている。利用者に合わせて声掛けをしながら出来るだけ自分で決める場面を作るようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしい生活が過ごせるように過去の生活暦を基に特技や趣味等を把握し、職員が工夫、検討してサービスの提供に努めている。できるだけ、その日の利用者の希望に沿って、個別に対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	今までの馴染みのある品物、服を自分で選んでもらっている。自己決定の出来ない人には、アドバイスをしながら支援している。理美容は、家族の協力を得て馴染みの店にしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	可能な範囲で、下ごしらえ、下膳、洗い物等、個々の能力に応じて行っている。職員と一緒にテーブルを囲みながら楽しく食事が出来る雰囲気づくりを大切にしている。	献立は法人内の栄養士が立て、行事食等も柔軟に取り入れている。調理等は利用者の持てる能力を活かして、下ごしらえや味付け、後片付け等、職員と一緒にしている。また、職員は利用者と同じものを食べながらさりげなく介助している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による献立を取り入れながら栄養バランスに配慮している。一日の食事の摂取量、水分摂取量をチェックし、指定栄養や小食等の利用者に対し、こまめに水分、栄養の摂取を勧めている。また、刻み食やとろみにした食事も提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、歯磨きの声掛けを行い能力に応じて介助を行っている。入眠前には義歯の洗浄を行い、水曜日、土曜日には義歯のポリデント洗浄を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を使用し、尿意のない利用者には時間を見計らいトイレに誘導している。可能な方に関してはパットを使用せず、紙パンツ又は布パンツにて対応している。	排泄チェック表で利用者一人ひとりの排泄パターンを把握しており、日中はできるだけ布パンツを使用して、食前、食後や時間を見計らってトイレで排泄できるよう支援している。また、夜間のポータブルトイレの使用は個別に対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給に注意を払い、水分摂取が出来にくい利用者に対してはお茶ゼリー、冷たい牛乳等こまめに提供している。繊維質の多い食材や乳製品を取り入れ、自然排便できるように取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者のその日の希望を確認し、一人ひとりの気持ちに合わせて入浴してもらっている。便汚染等の場合は随時対応している。	入浴時間帯（午後1時から3時）に利用者の希望に沿って入浴支援をしている。拒否のある利用者には、時間や声かけに工夫し、3日に1回は入浴するよう支援している。	入浴時間は利用者一人ひとりの生活習慣やその時々希望に合わせて支援することが望ましいので、体制等も踏まえ本人本位の入浴支援について検討されることを期待したい。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝前には、水分補給も兼ねながらリラックスして過ごせる環境づくりに配慮し、安心して入眠できるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルの冒頭やケース記録（医療面）に薬の内容や副作用等記載し、全職員が内容を把握できるようにしている。服薬時は、本人に手渡し内服するまで確認をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>過去の生活歴を元に、その人の得意とする場面づくりに心がけ、その人らしい生活を尊重している。野菜の皮はぎ、後片付け、花や野菜の世話等、その方の出番を全職員が把握している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>本人の希望や気分に応じて、園外への散歩や良心市への買い物に行っている。また、スーパーでの買い物やドライブ、住み慣れた自宅周辺など積極的に馴染みの場所への外出支援を行っている。</p>	<p>利用者の希望に沿って、毎日の散歩や、週に1回は道の駅や量販店等へ買い物やドライブに出かけている。また、自宅が近い利用者が少なく、年に1回は自宅周辺にドライブするなど支援している。なお、事業所の車は軽自動車が1台であり、近くの法人グループの事業所から車を借りるなど工夫をしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族との相談のうえ、お小遣いを預かり、外出や買い物時等の機会に自分で支払うように支援している。家族の来所時に預かり、金銭出納帳と残金を提示し確認をしてもらいサインをいただいている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話での会話が可能な方は、希望がに沿って電話ができるように支援している。年賀状の作成支援等も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>明るすぎず暗くないよう、照明やカーテンに注意し、食堂、居間には季節の花を飾りつけている。また板の音やご飯の炊ける匂い等、五感や季節感を意識的に取り入れる工夫をしている。</p>	<p>中庭を囲むように食堂、居間があり、数か所には季節の花が活けられ、利用しやすいように食卓やソファが置かれ、畳敷きスペースもあり、利用者が思い思いにくつろげるよう配慮している。また、リハビリテーション器具が置かれ、運動療法に利用されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングにはソファ、テレビなどを置き、和室は人形やコタツ等で家庭的な雰囲気に配慮している。庭にはベンチを設置し外気に触れながら過ごすように工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>タンスや椅子以外にもそれぞれの利用者の好みや馴染みものを生活スタイルに合わせ、居心地の良く過ごせるよう配慮している。</p>	<p>使い慣れた家具やソファ等が置かれ、個性的な生活感のある居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>何らかの問題が発生した場合は、個人の残存能力に応じてケアの方向性を決め、職員同士で共有している。</p>		

V アウトカム項目		ユニット名：東棟、西棟	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない